

桜の聖母学院中学校・高等学校 平成29年度 シラバス

履修年次	科・コース	教科名	科目名	単位数	履修形態
高校1年	英語科・普通科	総合的な学習の時間	宗教	1	必修

<b>教科書</b>	聖書（旧約聖書続編付き新共同訳聖書、日本聖書協会）
<b>その他の教材</b>	「未来を拓く女性 聖マルグリット・ブールジョワ」 「しらべにのせて」「生徒手帳」

<b>目標</b>	<p>神から見た自分の存在価値に目覚め、自分の人生を主体的に生きることを学ぶ。</p> <p>イエス・キリストの生涯を学ぶことにより、福音的価値を知り、時分の役割を理解して、他者や社会のために行きることができるようにする。</p> <p>現代の世界や、歴史の中におけるキリスト教の意義や役割を知り、カトリックについて客観的な視点からその特色を理解する。</p>
<b>学習のねらい</b>	<p>桜の聖母学院の歴史や見学の精神を学ぶ。</p> <p>聖書を学び、神を知る。神によって生かされ、愛されている自分を知る。</p> <p>イエス・キリストの生涯（教えとわざ）を学び、福音的価値を理解する。</p>
<b>定期考査</b>	<p>期末考査のみ、確認試験として年3回実施。</p>
<b>評価の観点 および 評価の方法</b>	<p>学期ごとの評価＝期末試験約6～7割、平常点約3～4割</p> <p>平常点の算出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聖書、専用ファイル、提出用ノートを持って授業に参加する。</li> <li>・立腰黙想とその振り返りがしっかりできている。</li> <li>・専用ファイルを正しく用い、配布したプリントがきちんと閉じられている。</li> <li>・提出物（ノート、レポートなど）</li> <li>・授業や宗教行事への参加の態度</li> </ul>
<b>履修上の注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立腰黙想と振り返りを通して、しっかりと自分を見つめる。</li> <li>・信仰の自由を前提としている。</li> <li>・キリスト教の教えを学び、人類に共通する考えを持ち、自分の人生を考える姿勢をもって授業に臨む。</li> <li>・宗教や聖書の講義を受け、聖書のメッセージを自分の生活や現実世界と結び付けて考える。</li> </ul>

桜の聖母学院中学校・高等学校 平成29年度 年間指導計画

期	月	学習項目・学習内容	テストと評価
1 学 期	4 月	授業の説明、目的、受け方、評価方法など 復活祭の説明 この学校の習慣や校訓 世界の中におけるキリスト教、カトリックと他宗派	
	5 月	聖母月にあたり、聖母マリアについて 錬成会の説明	聖母月のつどい（5月10日）
	6 月	ペテロとパウロについて 創立記念日を前に、創立者マルグリット・ブールジョワについて	錬成会（6月1日） 【1学期期末考査】
	7 月	夏休みの宿題「未来を拓く女性」を読んだレポートの提示	創立記念行事（7月5日）
<b>夏季休業</b>			
2 学 期	8 月	夏休みの宿題のまとめ（聖マルグリット・ブールジョワの生涯）	
	9 月	夏休みの宿題のまとめ（聖ルグリット・ブールジョワの生涯と、日本におけるCND宣教の歴史、学院の沿革）	
	10 月	ロザリオの月にあたり、ロザリオについて 修学旅行1年前にあたり、第二次世界大戦と原爆について	
	11 月	死者の月の説明 待降節の説明 第二次世界大戦と原爆について続き	慰霊ミサ（11月8日） 待降節はじめの行事（11月22日） 【2学期末考査】
	12 月	クリスマスについて 東西冷戦と核兵器について	待降節2回目の行事（12月6日） クリスマスのつどい（12月16日）
<b>冬季休業</b>			
3 学 期	1 月	イスラエルとパレスチナについて	
	2 月	日本キリスト教史	
	3 月	1年間のまとめ（イエスの生涯）	【学年末考査】
<b>春季休業</b>			